

公益社団法人 茨城県作業療法士会
令和元年度 第1回常任理事会 議事録

日時：令和元年7月7日（日） 9：00～10：35

場所：茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館内）

出席：（理事）大場、小森、山倉、大内、笥、細田、荒井、宇都木、武士、田中、新堀、服部

欠席：寺門

書記：開江（総務副部長）

令和元年7月7日9時00分、茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館内）において、理事12名出席の下、常任理事会を開催し下記議案に付き全員一致をもって可決確定の上、10時35分散会した。

【I 審議事項】

1. 地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会について
→ 継続審議、担当部局へ差し戻し（細田地域貢献局長）
 - ・地域ケア人材育成研修の実施において、地域のOTがどのような課題を抱えながら、どのように課題に向き合っているのか、実情を把握することが出来ていない状況。よりニーズにあった研修会を開催していきたいと考えている。
 - ・現状の研修会については概要についての研修に加え、講師を交えた議論を実施しているが、良い研修会になっているとの声も上がっている。
 - ・研修会の受講者人数については全体で40名程。参加自体はOT限定ではないが、現状ではOTの参加が主体となっている。市町村担当者についてはその中でも数人となっている。
 - ・現状の把握をしたうえで具体案について審議をしていく必要がある為、担当部局において、市町村担当者にアンケートを実施し、現状についての把握をしていく。
 - ・アンケート結果から見えてきた課題等をもとに再度審議をしていく。
2. 登記変更の方法について → 継続審議（荒井法人対策委員長）
 - ・今回、新理事の変更登記を行う際、申請書類の不備が発生した。次年度以降、どのように実施していくか審議が行われた。
 - ・法的内容に関わる定款等の記載内容についての変更ではなく、捺印等の事務的な修正のみであり、司法書士を依頼するまでは必要ない状況。
 - ・この度、事務局にて登記に関わるマニュアルを作成したため、事務的作業については整理がなされた。
 - ・事務作業の実務については業務の分担をしながら、個々の負担を減らして実施していく。
3. 第5回北関東信越ブロック学会 演題発表者派遣について → 原案通り承認（宇都木学会部長）
 - ・第5回北関東信越ブロック学会の日程が決定し演題募集が開始した。当士会からも演題発表者の派遣に向けて準備を進める為、審議が行われた。
 - ・演題発表者の派遣に関わる、学会参加費、旅費交通費、宿泊費を県士会で支弁する方向となった。
 - ・支援金については領収書にて実費精算。学会参加後には、写真、学会参加報告をまとめて提出していただく。
4. 第6回北関東信越ブロック学会 開催日程について
→ 継続審議、担当部局へ差し戻し（宇都木学会部長）
 - ・今年度の第5回北関東信越ブロック学会を終えると、持ち回りが一周し次回開催は当士会となる。第6回北関東信越ブロック学会の日程を決定し、学会準備を進める為、審議が行われた。
 - ・第13回茨城作業療法学会と併せて開催し、担当医療圏としては古河・坂東医療圏。

- ・日程としては、令和2年度11月の開催を予定。前回は二日間開催としたが、他方面の意見を聞きながら開催日数については再度検討する。
 - ・約300名の参加が予想される為、開催場所の候補としては、アール医療福祉専門学校か茨城県立医療大学。土日開催となると前回同様、アール医療福祉専門学校となるか。
5. 医療圏での研修会について → 継続審議、担当部局差し戻し (服部 CD 統括部長)
- ・水戸医療圏 CD より、今年度の医療圏研修会において日本作業療法士協会会長中村春基氏をお招きしたいとの要望があった。医療圏研修会の企画として適切かどうか審議が行われた。
 - ・研修会開催の可否については、前提として、中村会長のスケジュールや県士会、OT協会の事業との兼ね合いも考えて調整が必要。参加人数をどのように集めるかも考えていく必要がある。
 - ・企画内容「作業療法の専門性と今後の発展に関して」については、何について講演頂くのか、明確なテーマをもって入念な検討が必要。
 - ・規模としては、市民公開講座で2時間程として呼び出して、その後1~2時間程で作業療法士向けの講演をして頂く形となるか。
 - ・県士会主体で動いてしまうと主旨と合わなくなってしまう。また、医療圏ごとの事業の計画、予算取りもあるため、他医療圏との合同開催も難しいところ。部長及び医療圏担当者が連携しより現実的な企画を検討、調整する。
 - ・47委員会開催までに、内容をしっかりと詰めていく。
6. 特別支援教育に関する県士会の窓口業務について → 原案通り承認 (服部 CD 統括部長)
- ・日本作業療法士協会との窓口として活動していた江尻聡美様(筑波記念病院)が当士会を退会される予定のため、後任者を選出したい。
 - ・後任者の候補として、田中亮理事が選出され、承認された。
7. 子ども委員会の設立について → 継続審議 (田中 CD 統括副部長)
- ・子どもに関する作業療法の普及・啓発・人材育成、特別支援教育との協働、研修会の開催、地域における子ども子育て支援に関連する情報提供、会員間の情報交換などを目的とした職能団体としての組織を設立したい。
 - ・委員会設立としては、常設委員会として設置していく方向。
 - ・内容としては、「窓口、モデルの形成。特別支援との連動、OT協会からの依頼を受けての研修会開催。人材育成研修会の開催。」となる。
 - ・現時点でも、県内の特別支援学校を取りまとめている部局長から、医師の処方なく特別支援学校の児童に直接OTが介入することはできないかと県士会に問い合わせが来ている。現状では、教員に対してのコンサルトを行っている所はあるが、児童に直接的に関わっている所はほとんどない状況。実際には児童発達支援事業所独自で動くことも可能であり、法人としてボランティアで携わることも可能ではある。
 - ・その他、特別支援教育の手引きの県への提出。大学からのインタビュー依頼(「虐待について」虐待にどのようにして気づくか、どのように対応するか)。学童連絡協議会との連携。等の事業がある。
 - ・来年度から本格的に活動を行っていく予定とするが、本年度に事業を進めていく中で予算建てが必要な案件が出てくるようであれば、臨時予算建てが可能か常任理事、財務部と審議をしていく。
8. 会員証規定の変更について → 原案通り承認 (磯庶務部長:小森事務局長代理報告)
- ・会員シールの廃止に伴い、会員証規定の変更と会員シール再発行申請書の廃止が必要。
 - ・会員証規定の変更について承認された。新たな会員証規定に改編し運用していく。

【Ⅱ報告・連絡事項】

1. いきいき茨城ゆめ大会進捗状況について (荒井総務部長)
- <コンディショニングルーム運営準備の進捗状況報告>
- ・コンディショニングルーム従事希望者応募状況(7月1日現在)

従事希望者 23 名＋リーダー4 名（のべ 53 名／現在必要人員 53 名）募集は終了。
各会場従事者の調整も一応完了した。

- ・県から依頼のあったコンディショニンググループ運営に関わる調査（7 月 5 日期限）について提出済み。（調査内容：各スタッフの従事予定の会場、各スタッフの住所・生年月日、ベストのサイズ等）
- ・7 月 15 日 IBAT 主催研修会「いきいき茨城ゆめ大会サポート研修会」開催予定。

研修内容：障害特性の理解とサポートの留意点について

講師：和田野安良先生、小泉圭介先生（パラリンピック水泳競技日本代表トレーナー）、
中田綾子先生（ジャパンハイパフォーマンスセンタートレーナー、知的陸上日本代表トレーナー）

その他、各職能団体による視察報告会（福井大会、プレ大会について）

*茨城県作業療法士会として柘植が報告予定

- ・今後の予定：7 月後半～8 月実施体制決定。必要書類郵送。（プログラム、マニュアル、ID 等）
- 8～9 月 研修会開催予定、9 月（9/28～10/8）茨城国体、10 月（10/12～14）全スガ茨城
コンディショニンググループ設置・運営（10/11～14）

<障害区分審査について>

- ・いきいき茨城ゆめ大会参加選手の障害区分の資格審査を 7 月 13 日（土）9：30～18：00 に茨城県庁にて実施予定（14 日は予備日）。荒井、柘植、三木、浅野が出席予定。

<その他>

- ・来年のオリンピック、パラリンピック開催にむけて、日本作業療法士協会でも特設委員会が設置されている。
- ・国体の運営については毎年関わっている所であり、OT が必要不可欠な存在となっていることもある為広報をしっかりと行って欲しいと協会の方にも話をしている。今大会での写真、大会実施報告を協会の方にも提出していく。

2. 次回、第 2 回常任理事会について

（荒井総務部長）

- ・年間予定では、令和元年 9 月 8 日（日）9：00～茨城県作業療法士会事務所にて開催予定としていたが、同日は日本作業療法学会の開催予定であり、会長、常任理事の定数出席が難しいことが予想される。再度日程の調整を行っていく。